

- 問1 不況の際、日本銀行が国債の買入れを行う理由として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 徳島県公立入試 類似)
1. 市中から通貨を回収して金利を上げ、行き過ぎた景気の加熱を抑えるため。
 2. 政府の税収を増加させ、公共事業に使うための資金を直接調達するため。
 3. 市中に出回る通貨量を増やし、企業や個人が資金を借りやすくして経済活動を活発にするため。
 4. 政府に代わって減税を実施し、個人の消費支出を直接増やすため。
- 問2 銀行などの金融機関が、家計（個人）から預かった資金を企業などに貸し出す際、受け取る利子（金利）と預金者に支払う利子の関係として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
1. 貸し出す際の利子の方が、預金者に支払う利子よりも低く設定されている。
 2. 貸し出す際の利子と預金者に支払う利子は、常に同額になるよう国によって指定されている。
 3. 貸し出す際の利子の方が、預金者に支払う利子よりも高く設定されている。
 4. 景気が悪化したときのみ、預金者に支払う利子の方が高くなるように設定される。
- 問3 好景気（好況）の局面などで、社会全体の需要が供給を上回り、モノやサービスの価格が全体的に継続して上昇する現象を何といいますか。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
1. 円高
 2. インフレーション
 3. デフレーション
 4. スタグフレーション
- 問4 現代の経済活動において、貨幣が果たしている基本的な機能について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 神奈川県公立入試 類似)
1. クレジットカードのように、実際の支払いを将来に先送りする機能。
 2. 商品やサービスの価値を価格として表し、交換の仲立ちをする機能。
 3. 民間の銀行が景気の状態に応じて、独自の判断で紙幣を発行する機能。
 4. 円高や円安といった為替相場の変動を、常に一定の範囲に抑える機能。
- 問5 日本銀行がおこなっている、国が集めた税金をあずかったり、国が必要とする支払いを代わりにおこなったりする役割を何といいますか。 (2018年 兵庫県公立入試 類似)
1. 海外の銀行
 2. 商店の銀行
 3. 民間の銀行
 4. 政府の銀行
- 問6 日本銀行が公開市場操作において、民間金融機関から国債を買い入れる政策を実施した場合、その後の経済への影響として期待される因果関係の説明として正しいものはどれですか。 (2024年 香川県公立入試 類似)
1. 市場の通貨量が増えることで、民間の利子率（金利）が低下し、企業の設備投資が活発になる。
 2. 市場の通貨量が減ることで、通貨の価値が上がり、輸入品の価格が下がることで消費が拡大する。
 3. 市場の通貨量が増えることで、民間の利子率（金利）が上昇し、国民の預金意欲が高まる。
 4. 市場の通貨量が減ることで、物価の上昇が抑えられ、企業の過剰な在庫投資が抑制される。
- 問7 日本銀行の役割の一つである「政府の銀行」についての説明として、最も適切なものはどれか。 (2018年 北海道公立入試 類似)
1. 税金などの国の資金の出し入れを行う。
 2. 日本銀行券という紙幣を発行し、通貨の量を調整する。
 3. 一般の銀行から預金を預かったり、資金を貸し出したりする。
 4. 企業や個人に対して、資金の貸し出しや預金の受け入れを行う。
- 問8 企業が資金を調達する方法のうち、証券会社などを通じて株式や社債を発行し、投資家から直接資金を受け取る仕組みと比較した際、「間接金融」における資金の流れを説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 金融機関が多くの預金者から小口の資金を集め、それをまとめて企業に融資する仕組み。
 2. 個人が銀行を介さずに、インターネット上のプラットフォームを利用して企業を支援する仕組み。
 3. 企業が投資家に対して直接経営計画を説明し、その見返りとして配当金を支払う仕組み。
 4. 政府が日本銀行から直接資金を借り入れ、景気対策として市場に資金を供給する仕組み。
- 問9 景気が悪化した際（不況時）、日本銀行は世の中に出回る通貨の量を調節する「公開市場操作（オープン・マーケット・オペレーション）」を行います。不況時に行われる操作とその仕組みについて、正しい説明はどれですか。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
1. 日本銀行が民間銀行へ国債などを売却することで、市場に流通する通貨を回収し、過度な物価上昇を抑えて景気を安定させる。
 2. 日本銀行が一般の企業や個人に対して直接低利で資金を貸し出し、消費活動や設備投資を活発にさせることで景気を回復させる。
 3. 日本銀行が民間銀行から国債などを買い取ることで、民間銀行が持つ資金を増やし、市場に流通する通貨量を増やして景気を刺激する。
 4. 日本銀行が民間銀行の預金準備率を強制的に引き上げることで、銀行が貸し出せるお金を増やし、経済全体の活性化を図る。
- 問10 企業が資金を調達する仕組みのうち、銀行などの金融機関による仲介を介さず、証券市場を通じて投資家から資金を調達する方法を何といいますか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
1. 直接金融
 2. 公的金融
 3. 消費者金融
 4. 間接金融
- 問11 経済活動において、物と物を直接交換するのではなく貨幣（現金など）を介して取引を行う背景には、どのような利点があるからですか。その目的として最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 兵庫県公立入試 類似)
1. 電子マネーのみに限定して取引を行うことで、商品の価格変動を完全に抑えるため。
 2. すべての国民が自給自足の生活に戻ることを促し、地域経済を活性化させるため。
 3. 自分が欲しいものと相手が欲しいものが一致しなくても、円滑に取引ができるようになるため。
 4. 商品の価値をあえて不明確にすることで、市場における取引の回数を増やすため。
- 問12 企業の資金調達に関する資料において、ある企業が「将来の成長を見越して株式を発行し、投資家から広く資金を募った」と説明されている場合、この調達方法の特徴として適切なものはどれですか。 (2016年 山形県公立入試 類似)
1. 企業が投資家から直接、資金を調達する「直接金融」にあたる。
 2. 政府が中央銀行を通じて、市場の資金量を調整する政策にあたる。
 3. 家計が銀行に預金し、その利息を受け取る仕組みにあたる。
 4. 銀行などの金融機関を介して資金を借り入れる「間接金融」にあたる。
- 問13 日本銀行が「発券銀行」として紙幣を発行し、その流通量を調整している最も主要な目的は何ですか。その背景を含めた説明として適切なものを選びなさい。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
1. 外国との貿易を円滑に進めるため、すべての国の通貨を日本銀行券に統一するため
 2. 一般の個人や企業に対して直接的な融資を行い、利息による利益を得るため
 3. 国全体の予算を編成し、公共事業や社会保障に必要な資金を分配するため
 4. 通貨の供給量を操作することで、物価の安定を図り経済を安定させるため